

フォーラム運営委員会

運営委員長 辛貞和(東西大)

韓国側	日本側
金珍基(国立釜慶大)	小針進(静岡県立大)
林錫俊(東亜大)	清水唯一朗(慶應義塾大)
朴盛彬(亜洲大)	木口武博(日本大)
宋亮燮(高麗大)	林雄介(明星大)
琴鍾愛(忠南大)	齋藤希史(東京大)
申智媛(全南大)	海妻麦子(岩手大)
崔鍾成(ソウル大)	川瀬貴也(京都府立大)
申光澈(ハンシン大)	濱田陽(帝京大)

大会準備委員会

準備委員長 金珍基(国立釜慶大)

小笹克行 (東西大)	山口達見 (東西大)	張岩慇 (東西大)
趙正民 (国立釜慶大)	金崇培 (国立釜慶大)	申佳賢 (国立釜慶大)

大会参加教授・新進研究者

※五十音順

日本側(16名)

李熙錫 (城西大)	岩崎早穂 (大阪学院大)	上原和甫 (東京外語専門学校)
岡田浩樹 (神戸大)	菊池麻由 (岩手大)	栗田のみ子 (城西大)
斉藤穂高 (関西学院大)	新里喜宣 (福岡大)	杉村豪一 (常葉大)
鈴木雅勝 (城西大)	土井冬樹 (天理大)	奈良勝司 (広島大)
本多倫彬 (中京大)	宮嶋俊一 (北海道大)	弓山達也 (東京科学大)
渡邊悟史 (龍谷大)		

韓国側(8名)

郭仁信 (昌原大)	姜宇哲 (韓国輸出入銀行)	金鉉石 (釜山デジタル大)
諸点淑 (東西大)	申眞恵 (光州科学技術院)	朴昭蓮 (慶尚国立大)
朴炳道 (慶尚国立大)	水沼一法 (釜山外大)	

日韓次世代学術フォーラム事務局

URL www.japancenter.or.kr Tel +82-51-320-1900~1

E-Mail jkjisedai@gmail.com

47011 韓国釜山市沙上區周禮路47 東西大学校日本研究センター内

アクセス



交通案内

▶ 地下鉄 2号線 慶星大・釜慶大駅3番出口から徒歩 15分

- 高速バスターミナル(1号線・老圃駅)→1号線・西面駅(乗り換え)
→2号線 慶星大・釜慶大駅下車

- 釜山駅(1号線・釜山駅)→1号線・西面駅(乗り換え)
→2号線 慶星大・釜慶大駅下車

- 西部市外バスターミナル(2号線・沙上駅)→2号線・慶星大・釜慶大駅 下車

- 金海空港(釜山-金海軽電鉄・沙上駅)→2号線・沙上駅(乗り換え)
→2号線・慶星大・釜慶大駅 下車

▶ バス

- 市内バス(釜慶大・大淵キャンパスバス亭)で下車後、徒歩 10分)
10番, 20番, 22番, 24番, 27番, 39番, 131番, 155番

- 市内バス(慶星大・釜慶大バス亭)で下車後、徒歩15分)
40番, 41番, 42番, 51番, 83番, 83-1番, 1003番

宿舎連絡先

▶ 運営委員宿泊施設(L7海雲台パイロツテ)

住所 釜山市 海雲台区 海雲台路570番ギル 55
TEL +82-51-771-1000
URL <https://www.lottehotel.com/haeundae-l7/ja>

▶ 大会指定宿泊施設(国立釜慶大学校ゲストハウス)※チェックイン5階

住所 釜山市 南区 龍湖路45 国立釜慶大学校 未来館(A21)
TEL +82-51-629-7900~1



日韓次世代学術フォーラム

第22回 国際学術大会

「持続可能な日韓協力関係構築のために」

The Japan-Korea Next-Generation Academic Forum

期間 2025年6月28日(土)～6月29日(日)

-28日(土)セッション別発表・討論・総評
開会式・基調講演

-29日(日) 調査旅行

場所 国立釜慶大・大淵キャンパス(釜山市南区)

主催 日韓次世代学術フォーラム

主管 国立釜慶大学校人文社会科学大学日語日文学部
東西大学校日本研究センター

協賛 国際交流基金、東西大学校

後援 在釜山日本国総領事館
公益財団法人日韓文化交流基金

ご挨拶

今年2025年は、日本と韓国が国交正常化60周年という歴史的な節目を迎える意義深い年です。1965年の国交正常化以来、日韓両国は時に困難もありましたが、多様な分野で協力を拡大し、成熟した二国間関係を築いてきました。そして、その基盤には常に国民同士の交流を通じた共感と信頼が存在しました。

2004年に創設された日韓次世代学術フォーラムは、これまで20年以上にわたり、両国の未来を担う次世代リーダーである大学院生約4,000名に、学術交流を契機とした出会いの場を提供してきました。これを通じ、学術分野での相互理解はもとより、互いの歴史や文化を直接体験しながら、共感の輪を広げてきました。そして、こうした次世代の交流が、日韓両国間の揺るぎない信頼の基盤となる強固なインフラを形成しています。

この度の第22回大会は日韓国交正常化60周年を記念し、「持続可能な日韓協力関係構築のために」というテーマのもと開催されます。基調講演には、韓国を代表する外交官であり、駐日韓国大使を務められた柳明桓元外交通商部長官をお迎えします。柳明桓元長官と共に、紆余曲折を経ながらも着実に進展してきた日韓関係60年を振り返り、より持続的に発展し得る関係構築に向けた貴重な示唆が得られることを期待しております。

また、大学院生による研究発表はもとより、本フォーラム出身の新進研究者による企画セッションを通じ、日韓両国の持続可能な友好協力関係をより強固にするための、世代を超えた活発な議論が一層深まることを願っております。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、多大なるご協力を賜りました国立釜慶大学校の裴尙勳総長をはじめとする関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。また、準備段階より多方面にわたりご支援くださった日韓の運営委員、諮問教授をはじめとするフォーラム関係者の皆様、そして、今大会にご参加くださった大学院生の皆様にも深く感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2025年6月
日韓次世代学術フォーラム 代表
東西大学校 総長

張濟国

日韓次世代学術フォーラム

第22回国際学術大会

A 国際関係/政治・法律 / 経済・経営

司会 朴昭蓮(慶尚国立大)	場所 人文社会経営館 5階 523号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	山内裕太(一橋大)	新聞に掲載された軍事郵便にみる地方紙の対外認識 <p>— 『信濃毎日新聞』 「軍中の消息」 を事例に—</p>	安栽弘(韓国学大学院)
10:05~10:40	姜智水(東亜大)	プラットフォームの所有権および政治的なコミュニケーションの変化 <p>— イーロン・マスク氏によるTwitter買収の影響分析</p>	紅林亜緒依(名古屋大)
10:50~11:25	李尚河(慶應義塾大)	1980年代の韓国の「クロス承認」政策	市川周佑(京都大)
11:25~12:00	市川周佑(京都大)	「日韓国会」から見た佐藤栄作政権期の国会運営	李尚河(慶應義塾大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	李視淵(東亜大)	半導体グローバルサプライチェーンの地政学 <p>—米国主導の再編と東アジアの戦略的対応—</p>	李彦埔(広島市立大)
16:05~16:40	紅林亜緒依(名古屋大)	尹政権下の国会における旭日旗をめぐる論争	姜智水(東亜大)
16:50~17:25	李彦埔(広島市立大)	日韓半導体協力の経済安全保障効果に関する定量分析	李視淵(東亜大)
17:25~18:00	朴成浩(東亜大)	AI技術発展と半導体製造部門の付加価値変化 <p>—スマイルカーブ理論をもとに—</p>	山内裕太(一橋大)
18:00~18:10	総 評		

B 歴史

司会 申眞恵(光州科学技術院)	場所 人文社会経営館 6階 613号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	水谷春都(立命館大)	斎藤実朝鮮総督期における在朝鮮旧仙台藩出身者と菅原通敏	姜柔眞(ソウル大)
10:05~10:40	尹預媛(忠南大)	百濟泗泚期の都城の排水施設に関する研究	小川拓郎(立命館大)
10:50~11:25	小川拓郎(立命館大)	朝鮮人道知事任用政策の再検討 <p>—石鎮衡と高元勲の就任経緯を中心に—</p>	尹預媛(忠南大)
11:25~12:00	QUAN LI(一橋大)	アジア太平洋戦争期朝鮮人女性の満洲移住 <p>—朝鮮総督府の政策移民と農村女性有力者を中心に—</p>	小松直哉(広島大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	李承炫(立命館大)	1910年～1945年植民地朝鮮における帝国在郷人会	山本晶子(慶應義塾大)
16:05~16:40	山本晶子(慶應義塾大)	日本主義学生運動におけるナチズム「受容」 <p>—学術再編成と逆転する指導関係—</p>	李承炫(立命館大)
16:50~17:25	岡田恒一(東京大)	現代韓国における桜をめぐる認識 <p>—李承晩政権期から全斗煥政権期までの変容過程を中心に—</p>	李昭炫(釜山教育大)
17:25~18:00	姜柔眞(ソウル大)	1940年代における大日本帝国の南洋進出と同一民族論による合理化 <p>—日南同祖論の継承と『故郷への進出』</p>	水谷春都(立命館大)
18:00~18:10	総 評		

C 言語・文学(午前)/ 民俗・人類(午後)

司会 土井冬樹(天理大)	場所 人文社会経営館 6階 635号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	趙惠宣(忠南大)	日韓地方自治体のホームページにおける言語景観を通じたバリアフリー実態の考察	吉岡知輝(慶應義塾大)
10:05~10:40	ZHENG RUXUE(お茶の水女子大)	日本における禁体詩の伝来 <p>— 「欧陽詩書」を中心に—</p>	坪井俊樹(東京大)
10:50~11:25	吉岡知輝(慶應義塾大)	「折衷的共通言語」としての韓国語式漢字併記-案内表示板を事例に-	趙惠宣(忠南大)
11:25~12:00	坪井俊樹(東京大)	日韓文学に表出する越境する日韓の宗教	金娜儂(立命館大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	CHAI LIGEN(神戸大)	七人ミサキの語りにもみる、高知県の村落における「死」の意味変化	李昌憲(国立釜慶大)
16:05~16:40	李昌憲(国立釜慶大)	川口・芝園団地の多文化共生と対立移民増加による社会的逆転現状をもとに	CHAI LIGEN(神戸大)
16:50~17:25	坂田亮弥(佛教大)	ト占が取りなす災異と王権 <p>—神祇官・陰陽師・貴族たち—</p>	李恩珠(慶尚国立大)
17:25~18:00	YANG LIU(韓国学中央研究院)	歴史的祭典と地域アイデンティティの構築：扶余郡における百濟古都化過程に関する研究	坂田亮弥(佛教大)
18:00~18:10	総 評		

D 社会・ジェンダー

司会 渡邊悟史(龍谷大)	場所 人文社会経営館 5階 529号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	李睿源(全南大)	ファンダム経験とフローリングに関するナラティブ研究20代中盤・後半の女性のファンダム経験と認識を中心に	野崎文香(名古屋大)
10:05~10:40	野崎文香(名古屋大)	韓国のマスメディア報道における「男性嫌悪」言説の意味と課題	李睿源(全南大)
10:50~11:25	ZHU QIAOQIAN(北海道大)	アバターはいかにプレイヤーのジェンダー意識に影響するのか—デジタルゲームを例として	牧田小有玲(慶應義塾大)
11:25~12:00	玉井秀明(神戸大)	日韓関係(RPG2002～2011年)：表面化する社会秩序のジレンマ	盧多慇(慶應義塾大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	盧多慇(慶應義塾大)	団地という「空間」と「共同体」 <p>—高度経済成長期のコミュニティの構築過程をめぐって—</p>	玉井秀明(神戸大)
16:05~16:40	松元実環(神戸大)	戦後日本における「科学的な」性教育映画	金美志(釜山教育大)
16:50~17:25	矢島清香(名古屋市立大)	地域日本語教室においてボランティアとの関わりがCLD児に与える影響 <p>—コミュニケーション促進と安心感の提供に着目して—</p>	HUANG HSINHAO(九州大)
17:25~18:00	HUANG HSINHAO(九州大)	里親だが里親ではない <p>— 「小規模住居型児童養育事業」の政策過程に着目して</p>	矢島清香(名古屋市立大)
18:00~18:10	総 評		

E 宗教・思想

司会 金鉉石(釜山デジタル大)	場所 人文社会経営館 5階 530号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	細野一斗(東京大)	お守りの歴史と新宗教	尹允貞(ソウル大)
10:05~10:40	姜潤澤(韓国学中央研究院)	民主主義社会の基礎になる絆：東学における「暮らし」の哲学を中心に	嶋津麻穂(立命館大)
10:50~11:25	嶋津麻穂(立命館大)	坪内逍遙の「民性史」構想とその意義	姜潤澤(韓国学中央研究院)
11:25~12:00	GAO CHUXUAN(北海道大)	西田幾多郎の宗教哲学における「内在的超越」の意義 <p>—新プラトン主義との理論比較と展開</p>	HEATHER FUMIKO HEIMBACH(神戸大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	尹允貞(ソウル大)	巫俗の憑依降神の在り方に関する考察 <p>「春香の遊び」を事例に</p>	細野一斗(東京大)
16:05~16:40	岩室彩夏(東京科学大)	戦後日本におけるキリスト友会日本年会再結成過程について—東京月会および土浦月会の礼拝実践差異の克服に着目して—	韓秀彬(ソウル大)
16:50~17:25	ZHAO ZHENZHEN(東北大)	石川丈山「詩文の茶」から見られる「儒老合一」の思想	金娜儂(立命館大)
17:25~18:00	長谷川護(慶應義塾大)	多文化化する地域社会における政策過程 <p>—日本のムスリム土葬墓地建設をめぐる交渉と調整</p>	張淪在(全南大)
18:00~18:10	総 評		

F 文化・芸術

司会 岩崎早穂(大阪学院大)	場所 人文社会経営館 5階 532号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	慎海云(東西大)	開化期朝鮮教科書に描かれた人物像の考察 <p>—学部編纂教科書と民間編纂教科書の比較を中心に—</p>	本多由佳(早稲田大)
10:05~10:40	松本淳也(神戸大)	近代的身体とストリートのリズム <p>—バスケットボールに着目して—</p>	吳炯昇(高麗大)
10:50~11:25	BASMANOVA KSENIA(慶應義塾大)	日韓におけるフェミニズム・アートの交差点 <p>—女性アーティストの協働と多文化理解—</p>	潘珠榮(韓国外大)
11:25~12:00	本多由佳(早稲田大)	2000年代以降の「日帝強占期映画」における日本人表象の変遷	慎海云(東西大)
12:00~12:10	総 評		
15:30~16:05	HE KE(帝京大)	東アジア発バーチャル・アイドルのグローバル展開に関する比較研究 <p>—初音ミク、洛天依（ルオ・テンイ）、PLAVEと創作生態系、文化的適応、人間性の要因—</p>	久保田芽生(学習院女子大)
16:05~16:40	金廷玟(成均館大)	富国強兵に貢献する「健康な国民」の誕生：森永製菓の新聞広告を通して見る20世紀初頭の日本における栄養談論	NGUYEN TRAN DIEU HUUYEN(神戸大)
16:50~17:25	久保田芽生(学習院女子大)	韓国における日本大衆文化の受容と変容 <p>—若者世代の「ボーダーレス」意識に着目して—</p>	HE KE(帝京大)
17:25~18:00	NGUYEN TRAN DIEU HUUYEN(神戸大)	日本における食のグローバルイゼーション <p>—クッキングブックにあるベトナム料理の考察—</p>	金廷玟(成均館大)
18:00~18:10	総 評		

企画セッション：新進研究者

司会 辛貞和(東西大)	場所 人文社会経営館 6階 633号		
時間	発表者	発表題目	指定討論者
15:30~16:05	郭仁信(昌原大)	ブローデルによる歴史の三層構造から見た日韓関係の多層的分析	斉藤穂高(関西学院大)
16:05~16:40	本多倫彬(中京大)	安全保障目的の援助政策から浮かぶ今日的課題	姜宇哲(韓国輸出入銀行)
16:50~17:25	朴炳道(慶尚国立大)	日韓国交正常化60周年と宗教学界の交流 <p>—次世代の観点からの省察と課題</p>	新里喜宣(福岡大)
17:25~18:00	杉村豪一(常葉大)	大学間交流と東アジアの未来	諸点淑(東西大)
18:00~18:10	総 評		

全体日程

日	時間	内容
6/27(金)	15:00 以降	宿舎チェックイン
	18:00-19:30	大会運営委員会議 <p>場所：人文社会経営館(C25) 5階 509号</p>
	08:40-09:30	登録 <p>場所：人文社会経営館(C25) 6階 ラウンジ</p>
	09:30-12:10	セッション別発表・討論、総評
	12:10-13:10	昼食 <p>場所：人文社会経営館(C25) 5階 516号 6階 612号</p>
6/28(土)	12:10-13:10	引率教授懇談会 <p>場所：人文社会経営館(C25) 6階 611号</p>
		開会式 <p style="text-align:right">司会 金珍基(国立釜慶大)</p> <p>開会の辞：張濟国(フォーラム代表) 歓迎の辞：裴尚勳(国立釜慶大総長) 祝 辞：大塚剛(在釜山日本国総領事) 寺江暉(国際交流基金 ソウル日本文化センター 日本語・日本研究部 部長)</p> <p>場 所：人文社会経営館(C25) 7階 728号 アラムホール</p>
		基調講演 <p>講演者：柳明桓(元韓国外交通商部長官) テーマ：「日韓国交正常化60周年の回顧 —持続可能な日韓協力関係構築のために—」</p> <p>場 所：人文社会経営館(C25) 7階 728号 アラムホール</p>
	14:00-15:10	セッション別発表・討論、総評
	15:30-18:10	レセプション <p>場所：ドンウォンチャンボゴ館(E22)</p>
6/29(日)	09:00-20:00	調査旅行 <p>釜山文化・歴史探訪</p>
6/30(月)	-	解散